

本当に一人ひとりに合った 予防を提供するために

昨年11月、都内に **Primary Dental Care** 尾山台を開業した目代 匡先生。
完全自由診療のスタイルのなか、予防に必要なツールとして導入しているのが
『デントカルト』と『カリオグラム』によるだ液検査です。

実際にどのように活用しているのか、
患者さんの具体的なエピソードを交えてお話してくれました。

「原因除去」の 歯科医療を提供したい

歯科医師になつて、すぐに大きな医療
法人に勤務しました。目指していたの
は、何でもこなせるような歯科医師で
す。でも、いろいろな経験をするうちに
歯科の専門性や奥深さを感じ、医療の
質を追求することが患者さんのメリッ
トになると考えるようになりました。

また以前に多く拝見したのが、むし
歯になつてから来院したり治療後に
何度もやり替えになる患者さんです。
こうなってしまうのには必ず固有の原
因があります。治療でも予防でも、一人
ひとりに合った**「原因除去を中心とした**

歯科医療を提供したい。そんな思いで
この医院を開業したのです。

保険では決まったルールにのっとり
なければならず、本当にその方に合っ
たものは提供できません。そこで、当
院では自由診療のみとしました。患者
さんも保険と自由診療の違いを理解す
れば、「良いほうの選択肢」を選んでく
れると実感しています。

リスクが高い低いに関係なく、 □のことは知るのが大事

先日、初診の患者さんが検診で来
院しました。将来的に歯を失う心配
をされていたので、「まずは〇〇さん

むし歯の原因を、 見て理解してもらえ

デントカルトのよいところは、なんと
言っても、**むし歯の原因を「見える化」で
きる**こと。

むし歯になつてしまつた状態は口腔
内を見せて説明できます。でも、むし
歯にならないための説明は難しい。先
ほどの患者さんもそつたつたのですが、
むし歯のない方はなかなかイメージで
きません。でも、デントカルトを使うと
むし歯の原因を見て理解でき、自分の
こととして考えてもらえます。特に、
**「コロナーは患者さんの細菌そのもの。
見たときのリアクションは大きいですね。**

それから実は、私はフランクに話す
のが苦手で、以前は患者さんのプライ
ベートな話を聞けなかつたんです。で
もこれらのツールを使って十分時間を
かけることで、その方のライフスタイ
ルやセルフケアのやり方、食生活など、
役に立つ情報をたくさん引き出せるよ
うになりました。

ずっと患者さんを 診続けていくために

むし歯や歯周病は一度罹患すると完
全には治りません。だからこそ**半年、
1年、その先と、継続的にリスクを検査
していく。**そうすることで、その患者さ
んがだ液検査の結果をどう捉えたの
か、どんな行動の変化を起こしたのか、
医院からどんなアプローチが必要なの
かがわかります。

勤務医だつたときは、だ液検査の必
要性をよくわかっていませんでした。



Primary Dental Care 尾山台(東京都)

院長 **目代 匡** 先生

**自身が自分のお口がどうなっているか
を知ることが大事です。**歯を失う主
な原因には、むし歯、歯周病、外傷が
あります。このうちどのリスクが高
いのかを共有したうえで、私たちに
携わせていただだけませんか？」と、
だ液検査を含めた詳細な検査を提
案しました。

だ液検査の結果、むし歯のリスクは
低いことがわかりました。それでもも
ちろん、検査する意味があります。結
果をスライドにまとめてお伝えするの
ですが、**低かったら低かったなりにその
方のデータとして共有できますから。**
これは今後お付き合いしていくのにも
役に立ちます。

ドクターは歯がだめになつたときの知
識や技術は学んでいるので、治療する
だけなら検査しなくてもできるでしょ
う。でも、今はまったく違う考えです。
歯を守るために患者さんを教育する。
信頼関係を構築して継続的に来院して
もらう。そのために必要で、とても大
切なツールです。

この医院はまだ開業したばかり。勤
務医時代とは環境が違つので戸惑つこ
ともありますが、**「ここに通つていれば安
心」**と思ってもらえるよう、患者さんを
バックアップしていきたいと思っています。

歯科衛生士の声

目代 葉都妃 さん



患者さんのお話をよく聞くと気づくの
が、「そうだったんだ!」と思うようなエ
ピソードがたくさんあること。そこに
提案のヒントやアイデアが含まれてい
ます。

メインテナンスは一時的なものでは
なく、患者さんの人生に沿って長期的
に行なうもの。患者さんの話を引き出
すためにも、歯科衛生士としてはもち
ろん、一人の人間としてお付き合いで
きるよう心がけています。

だ液検査の
『デントカルト』については、
マンスリー
インフォメーション **7** ページへ!